

平成28年度 第3回臨床腫瘍セミナー

平成28年6月21日(火)
11号館 第2臨床講義室

免疫チェックポイント阻害剤とCAR-T療法を基軸とした 免疫療法の新展開！

国立がん研究センター
先端医療開発センター
免疫療法開発分野(築地)
中央病院 先端医療科

吉村 清 先生

講義内容

がん免疫療法の開発は、その免疫システムの活性化の歴史であり、特定の抗原を認識するのかもしれないのか、あるいは樹状細胞を活性化させるのか、T細胞を活性化させるのかといった観点で進められてきた。ここに近年腫瘍免疫学の進歩と共に免疫系における抑制系の解除といった概念が重要であることがわかった。この概念は腫瘍微小環境における免疫の負の機構や腫瘍浸潤T細胞からの腫瘍の免疫逃避機構に関する研究とシンクロナイズし大きく発展していった。ここで生まれた一つの成果が免疫チェックポイント阻害剤である。抗PD-1あるいはPD-L1抗体を用いた免疫療法は今後がんの治療そのものを変える可能性を有する。現在悪性黒色腫や肺癌で日本では認可されているが、免疫関連の副作用が存在し効果予測に対する適切なバイオマーカーが無いこと、あるいは無効症例に対するアプローチをいかにするか等が議論されている。この治療法に引き続き現在はキメラ抗原受容体の遺伝子を導入したT細胞(CAR-T)の開発も進んでいる。本治療法はCD19を標的とし造血器腫瘍の一部に対して高い効果を上げている。しかしながら開発途上で様々な問題点がわかってきた。我々はその問題点を克服すべく、現在新規標的の抗原にたいするCAR-T療法を開発しており、問題点とともにこの2つの治療法の開発の現況と方向性を報告する。

皆様のご出席をお待ちしています！！

- ◆がん治療に携わる医師、メディアスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっています。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ちください。

【次回開催予告】
平成28年7月26日(火)
第2臨床講義室

都合により変更となる場合がございます。

問合せ: 福島県立医科大学教育研修支援課
がんプロフェッショナル養成支援室
TEL: 024-547-1095
E-MAIL: takaaki@fmu.ac.jp